

# 光で拓く 「キラル物質科学」 の最前線

2023年  
9月19日(火)  
14:00-17:45  
熊本城ホール  
(A201会場)

## The Frontier of Chiral Light-Matter Science

らせんおよび渦(らせん構造)は、生物の組織や生体分子にはじまり、流れ場、光と電磁気学、光化学、スピントロニクスから量子力学にいたる幅広い分野で普遍的にみられます。古代より人類を魅了してやまない「らせん構造」を光で操作しようとする「キラル物質科学」が、今、脚光を浴びています。さらに、らせん構造に由来するキラリティーが物理、化学、数学など異分野を貫くキーワードとして現代の自然科学と工学を巻き込む新たな潮流を生み出しつつあります。

本シンポジウムでは、らせん、渦、キラリティーの視点から「キラル物質科学」を研究推進する著名な研究者を、分野を超えて幅広くお招きし、一般講演も交えて、その最前線のトピックスを議論する場を提供します。

【一般講演も歓迎いたします】

### 招待講演

岡本 裕巳(分子科学研究所)

キラルな光-物質相互作用によるイメージング計測、物理的・化学的効果

笹木 敬司(北海道大学)

プラズモニクナノ局在場の物理特性

Viet Giang Truong (OIST)

Selective Trapping, Rotation and Propulsion of Isotropic Dielectric and Composite Janus Microparticles in the Evanescent Field of Optical Nanofibres

中嶋 琢也(大阪公立大学)

光応答性らせん状分子の構造変換とキラル光学特性

松崎 典弥(大阪大学)

らせんの組織工学

袁輪 陽介(大阪大学)

光で開拓する量子渦の物理

[敬称略/五十音順]

世話人:田口 敦清(北海道大学), 尾松 孝茂(千葉大学)